

会報・案内

平成14年度第4回理事会議事録

- 日 時：平成14年5月7日(水)14:00～17:00
 場 所：学士会館赤門分館3号室
 出 席：石垣武男, 板井悠二, 遠藤啓吾, 隈崎達夫
 久保敦司, 小西淳二, 杉村和朗, 田村正三
 中村仁信, 西谷 弘, 早瀬尚文, 松井 修
 山田章吾各理事
 (監事)阿部公彦
 欠 席：(監事)大友 邦
 議 事：
1. 前回議事録の承認
 2. 第62回日本医学放射線学会総会について
 3. 第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会について
 4. 役員分担の最終決定について
 5. 日医放会員資格について - 医学物理士認定委員会からの答申について -
 6. JRC役員について
 7. 委員会交代委員の承認
 医学物理士認定委員会
 放射線防護委員会委員長交代
 編集委員会
 8. 遠隔画像診断部会の件
 9. 会告の承認
 4月号(事後報告)
 第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会案内Ⅱ
 第16回胸部放射線研究会案内
 第15回頭頸部放射線研究会案内
 第15回電子情報研究会案内
 第12回救急放射線研究会案内
 第62回日本医学放射線学会総会案内Ⅰ
 平成14, 15年度役員
 平成14, 15年度評議員氏名
 平成14, 15年度代議員氏名
 第16回医学物理士認定試験の受験資格について
 第22回神経放射線ワークショップ案内
 新規学術集会認定申請単位決定等のお知らせ
 5月号 第31回断層映像研究会案内
 6月号 第62回日本医学放射線学会総会案内Ⅱ)
 第16回医学物理士認定試験について
 医療用線量標準センターからのお知らせ
 10. 今期重要事項について
 報告事項
 1. 前理事会からの申し送り事項
 2. 日本学術会議からのお知らせ

3. 委員会報告
 放射線防護委員会
 乳房撮影委員会
 医学物理士認定委員会
 教育委員会
 広報委員会
 将来計画委員会
 医療事故防止委員会
 健保・健保実行合同委員会
 電子情報委員会
 倫理委員会
4. その他

- 議 事：
1. 前回議事録の承認
 前回議事録を承認した。
 2. 第62回日本医学放射線学会総会について
 小西会長より第62回総会準備状況の報告があり, 了承された。
 会期は平成14年4月11日～13日, 会場はパシフィコ横浜, メインテーマ「放射線医学の新たな展開 - 生命科学の歩みとともに -」で開催予定, 演題受付はオンラインのみで受け付け, 演題発表については従来通りPCとスライドを併用する, また今回もInternational Symposiumを設ける。
 3. 第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会について
 渡会大会長より大会準備状況が報告された。
 4. 役員分担の最終決定について
 板井総務理事より各理事の希望を基に作成した役割分担案について説明があり, これについて協議し下記のように決定した。複数の理事を配したところは筆頭者を責任者とする。
 第62回会長 小西淳二
 第63回会長 隈崎達夫
 総務理事 板井悠二
 庶務理事 遠藤啓吾
 会計理事 隈崎達夫
 編集委員会担当理事 久保敦司, 西谷 弘
 放射線科専門医認定委員会担当理事
 松井 修, 山田章吾, 田村正三
 教育委員会担当理事 松井 修, 久保敦司
 健保委員会・同実行委員会担当理事 遠藤啓吾, 中村仁信
 放射線防護委員会担当理事 西谷 弘
 広報担当理事 西谷 弘, 石垣武男
 用語委員会担当理事 田村正三, 小西淳二
 財務委員会担当理事 隈崎達夫
 将来計画委員会担当理事 中村仁信, 早瀬尚文
 電子情報委員会担当理事 石垣武男
 医学物理士認定委員会担当理事 山田章吾, 田村正三

医療事故防止委員会 石垣武男, 田村正三
 倫理委員会 小西淳二, 隈崎達夫, 板井悠二
 乳房撮影委員会担当理事 石垣武男
 国際渉外担当理事 杉村和朗, 松井 修
 関連学会連絡担当理事 石垣武男
 学会内各種研究会担当理事 中村仁信
 放射線科専門医・医会担当理事 杉村和朗
 (部会, 会議, 委員会等の担当者)
 第38回秋季臨床大会長 渡会二郎
 第39回秋季臨床大会長 中尾宣夫
 生物部会長 佐々木武仁
 日本学術会議連絡委員 山田龍作
 日本医学会評議員 石垣武男
 日本医学会連絡委員 早淵尚文
 日本医学会用語委員 田村正三
 日本医学会用語代委員 早淵尚文
 放射線防護連絡協議会委員 中村仁信
 日本医師会疑義解釈委員 田中良明
 内保連委員 日下部きよ子, 河野 敦, 土器屋卓司
 外保連委員 土器屋卓司, 築根吉彦, 煎本正博
 専門医認定制協議会 山田章吾, 松井 修
 医学放射線物理連絡協議会 早淵尚文
 理工学における同位元素研究発表会 久保敦司
 原子力総合シンポジウム 早淵尚文

5. 日医放会員資格について - 医学物理士認定委員会からの答申について -

前回の理事会で会員資格について議論され, 理事会から医学物理士認定委員会へ諮問しその答申が出された件について報告がなされた。理事会で検討後医師以外の入会資格については, もう少し明確にする必要があるので再度検討することとした。また, 今回入会申込みのあった医師以外の入会希望者, および海外からの入会希望者(医師)について理事会で検討後これを承認した。

6. JRC役員について

板井総務理事より候補者の推薦(案)について説明があり各理事より意見が出されこれを了承した。

理事: 隈崎達夫, 小西淳二, 板井悠二, 遠藤啓吾, 久保敦司
 監事: 阿部公彦

7. 委員会交代委員の承認

医学物理士認定委員会, 放射線防護委員会から委員長交代について案が出されこれを了承した。

医学物理士認定委員会: 新委員長 今村恵子
 放射線防護委員会: 新委員長 石口恒男

また, 編集委員会より委員の半数交代について案が出されこれを了承した。

新任: 牧田幸三, 原田潤太, 笹井啓資, 井上登美夫, 稲田陽一
 窪田宣夫

留任: 小久保宇, 今井 裕, 鎌田 正, 小泉 潔, 齊藤秀敏
 三橋紀夫

また各委員会で新委員を選出する際は若手の評議員の参加を検討すること, 担当理事と委員会との関係, 各委員会の委員選出基

準を整理し統一をはかるようにする等の意見が出され, 将来計画委員会での検討事項とすることとした。

8. 遠隔画像診断部会の件

西谷理事より, 電子情報研究会の中で開催されている遠隔画像部会について第2回開催案を会告として掲載したい旨の報告がありこれを了承した。

9. 会告の承認

4月号(事後報告)

第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会案内 II

第16回胸部放射線研究会案内

第15回頭頸部放射線研究会案内

第15回電子情報研究会案内

第12回救急放射線研究会案内

第62回日本医学放射線学会総会案内 I

平成14, 15年度役員

平成14, 15年度評議員氏名

平成14, 15年度代議員氏名

第16回医学物理士認定試験の受験資格について

第22回神経放射線ワークショップ案内

新規学術集会認定申請単位決定等のお知らせ

5月号 第31回断層映像研究会案内

6月号 第62回日本医学放射線学会総会案内 II)

第16回医学物理士認定試験について

医療用線量標準センターからのお知らせ

10. 今期重要事項について

板井総務理事より今期理事会としての重要課題について説明がなされた。また, 今期理事会開催予定について決定した。

11. その他

科研費審査委員の推薦について依頼があった旨の報告がありその案について説明がありこれを了承した。

報告事項

1. 前理事会からの申し送り事項

前期理事会から各担当理事の活動内容, 検討事項を含め申し送り事項が出されこれを確認した。

2. 日本学術会議からのお知らせ

学術会議の改組(案)について資料をもとに報告がなされた。

3. 委員会報告

4月の総会時開催された各委員会について報告がなされた。

放射線防護委員会

乳房撮影委員会

医学物理士認定委員会

教育委員会

広報委員会

将来計画委員会

医療事故防止委員会

健保・健保実行合同委員会

電子情報委員会

倫理委員会

4. その他

1) 山田理事より4月に開催された専門医認定制協議会の報告が

なされた。平成14年4月1日から厚生労働省から医業に関する広告規制の緩和として広告できる医療の内容に関する情報として専門医の広告が追加された旨の報告がなされた。当日はその手続等の資料の説明があり、日医放はその基準を満たしている事からこの手続を進めることを確認した。

2)西谷広報委員長より学会会員専用メーリングリストを開設したとの報告がなされた。

第156回放射線科専門医認定委員会 専門医試験コンピュータ化特別委員会議事録

日時：平成14年5月29日(水)12:00~17:00
場所：学士会館赤門分館8号室
出席：松井 修(委員長, 担当理事)
平松慶博(前委員長)
山田章吾(副委員長, 担当理事)
田村正三(担当理事), 大友 邦, 西谷 弘
福田国彦, 星 博昭, 竹田 寛, 渋谷 均
中島康雄, 玉木長良, 池添潤平, 西村恭昌
林 邦昭, 工藤 祥, 松永尚文, 木戸尚治各委員
欠席：荒木 力, 杉村和朗, 榎林 勇, 煎本正博
草野正一各委員

議事：

1. 二次口頭試験設問の方法について

設問内容については、放射線治療部門、放射線診断部門、核医学診療部門それぞれに異なるのでそれぞれの部門ごとに設問方法を定める事を確認した。

2. 採点の方法

昨年核医学の口頭試験の実施内容、経過について小泉委員より報告がなされた。また、松永委員より資料をもとに案がだされた。委員会で検討後昨年の核医学の採点方法を基準に各分野の採点方法も同様に行なうことが了承された。

3. 口頭試験問題の検討

それぞれの専門分野にわかれ口頭試験問題の検討をおこなった。試験問題データチェックは6月20日までに事務局へ連絡することとした。また、登録されたデータは残す事、設問と解答については各委員で検討し変更してもよいこととした。

4. 新委員の推薦について

評議員より推薦のあった候補者について報告がなされた。

北日本地方会：晴山雅人

関東地方会：井上登美夫, 角谷眞澄

中部地方会：伊藤春海, 阪原晴海

関西地方会：村田喜代史

中四国地方会：松永尚文

九州地方会：山下康行

(敬称略)

上記委員を新委員として推薦することとした。

5. サーバ管理について松永委員より資料を基に報告がなされた。現在は山口大で行なっているが、今回の認定試験終了後サー

バ管理をどのように行なっていくか、また費用はどの程度発生するのか、などの説明があり、これについて西谷委員より日医放のホームページのサーバ管理も含め検討する必要があるとの意見がだされ、専門医認定委員会からの提案事項として理事会で検討いただくこととした。

6. 次回委員会は平成14年6月24日(月)11:00~17:00

第157回放射線科専門医認定委員会議事録

日時：平成14年6月24日(月)11:00~17:00
場所：学士会館赤門分館8号室
出席：松井 修(委員長, 担当理事)
山田章吾(副委員長, 担当理事)
田村正三(担当理事), 玉木長良, 中島康雄
平松慶博, 福田国彦, 星 博昭, 竹田 寛
榎林 勇, 杉村和朗, 池添潤平, 西谷 弘
林 邦昭, 工藤 祥, 大友 邦, 渋谷 均各委員
欠席：荒木 力, 西村恭昌各委員

議事：

1. 専門医試験関係

1) 専門医試験受験者の資格審査について

第13回一次試験願書提出者 251名, 第11回二次試験願書提出者 266名の受験資格を審査し, すべての者が資格ありと判定された。

2) 一次試験問題の検討と決定：一次試験問題を専門領域ごとに検討し, 決定した。

3) 二次試験問題の検討と決定：二次試験問題を専門領域ごとに検討し, 決定した。

4) 専門医試験官の担当・分担など二次試験の口頭試験官の選出について進捗状況が報告され, 最終的に委員長が決定することです承された。

2. 修練機関・協力機関の審査結果報告

修練機関16施設(うち協力機関から修練機関へ変更1施設), 協力機関23施設からの申請書を地区別に各担当委員が審査し, その結果を審議した。条件が不十分な施設には指導項目を指摘することにした。

また申請書の検査件数について検査の実数を重視するか分担率を重視するかについては明確に出来るよう今後も検討することとした。(審査基準の見直し)

3. 二次口頭試験のコンピュータ化について, 今年度は診断・核・治療の全部門でコンピュータによる試験を行うことを確認した。

平成14年第2回日本医学放射線学会 将来計画委員会議事録

日時：平成14年6月11日(火)15:00~17:00
場所：学士会館赤門分館3号室

出席：中村仁信(担当理事・委員長)
 早淵尚文(担当理事・副委員長)，油野民雄
 江原 茂，角藤芳久，高橋元一郎，本田憲業
 大淵真男，石口恒男，佐藤守男，廣田省三
 阪口 浩，大川元臣，菅 一能，清 哲朗
 桑原康雄，芦澤和人各委員

欠席：竹田 寛，蒲田敏文，岡崎正敏各委員

議事に先立ち，今期の本委員会のメンバーの自己紹介があった。次に，中村，早淵担当理事から本委員会の役割について説明がなされた。

議 事：

中村担当理事の司会のもとに議事を進めた。

1. 委員長の選出。中村仁信担当理事が委員長，早淵尚文担当理事が副委員長として選出された。

2. 今後の委員会活動に関して理事会から出された諮問事項

1) 日本医学放射線学会選挙について

2) 各委員会の委員の決定方法について

中村委員長から諮問事項内容について説明がなされた。

代議員・評議員の現在の選出方法について

1) 現在の代議員・評議員の選出方法について確認を行なった。

・代議員・評議員の各地方会の配分については地方区の会員数の比率で配分代議員選挙の結果から地方区の割り当て数に応じ上位から評議員選出(180名)

・理事会推薦評議員は20名

・理事の選出は180名の評議員による互選

・互選に際し，理事としての抱負などを表明する形で自薦，他薦ができる。その際理事として活動する機能領域の抱負をのべる

今回の選挙結果から以下のような意見が各委員から出された。

・教室の主任教授の評議員不選出

・学会入会には評議員の推薦が必要

・主任教授はすべて評議員にする。但し複数教授のいる大学で教授一人に絞る事は困難なところもありうる。教授を皆評議員にする

・評議員の選出を投票で行なわずその人自身の学会活動を評価した資格を設ける

・評議員の役割，必要性が何であるのか若手にはわからない

・会員による自由立候補制

・分野別，年齢別から選出

・代議員・評議員の選挙と理事の選挙を別にする

・理事の選出方法について地域(地方会)別の割り振りも考慮してほしい

等活発な意見がだされた。中村委員長よりこれらを基に小委員会をつくりその中で検討し最終的に委員会ですとまとめる方向に進めたい旨の案が出された承された。

選挙以外に出された意見

(1) 春の総会・秋の大会のシステム化(プログラムの内容を大会長任せにしないで若手が魅力を感じるようなプログラムを組み込む)，JRCとの関係を明らかにする。(2) 学会に入会することのメリ

ット・専門医試験，放射線科医の存在のPR，文部科学省，厚生労働省との接点等の情報を知らせて欲しい。など。

次回は 8 月30日東京で開催。

第62回電子情報委員会議事録

日 時：2002年 6 月23日(日)10時00分より12時15分

場 所：順天堂大学 9 号館 4 階第 1 会議室

出席：石垣武男(委員長)，稲邑清也(副委員長)

安藤 裕(副委員長)，煎本正博，江本 豊

越智 誠，紀ノ定保臣，黒田知純，佐々木康夫

島本佳寿広，西谷 弘，森 宣，小寺吉衛(JSRT)

松井美楨(JSRT)

欠席：滝沢正臣，木村通男，佐古正雄，大山永昭

池添潤平，清水佳寿広，澤田 敏，三宅秀敏

宮坂和男

資 料：

(1) 第61回議事録

(2) デジタル画像取り扱いに関するガイドライン1.0版

(3) 第15回電子情報研究会

(4) 画像診断報告書検討小委員会

(5) 電子情報委員会規約・委員名簿

(6) CyberRad報告

(7) 遠隔画像診断部会プログラム

1. 前回の議事録が修正なく，承認された。

2. デジタル画像取り扱いに関するガイドライン1.1版
 委員長より提案されたガイドライン資料(2)について討議した。
 新しい部分は，1.0版のものに追加して，1.1版とすることになった。

2. 1 CRTモニタ性能

2. 2 CRTモニタの劣化 この項目を追加した。

(2) CRTモニタは経年変化し輝度が低下するので，正確な読影診断ができるように留意すること。………検出に影響が認められた。(脚注)

(脚注) 例えば，入荷時の………精度に影響を与える。画像観察 CRTモニタの医学的安全基準設定に関する研究による。

(3) モニタの輝度劣化の程度を，毎日チェックすることが望ましい。(注2)

(注2) モニタ劣化を視覚的に認識するには，劣化判定用に作成されたテスト画像(胸部写真とコントラストチャート)の類を使用するのがよい。

テストパターンとして，SMPTE，石垣班の画像(コインリージョン)，小寺先生のパターンなどがある。将来，ホームページ上に公開する。

3. 秋季臨床大会のプログラムについて(報告)

3. 1 電子情報研究会9 : 30 ~ 11 : 30am

パネルディスカッション「IHE-J」画像診断報告書とIHEを西谷委員にお願いし，SRについて稲邑委員が講演する。

3. 2 合同シンポジウム：遠隔画像診断14 : 30 ~ 17 : 30pm

(第3回遠隔放射線診断部会と共催)

資料(3)をもとに演者・演題について報告があった。

4. 画像診断報告書検討小委員会

稲邑, 西谷委員より資料(4)について説明があった。

要求仕様書やガイドラインを1年をめどに作成することにする。

両氏に組織構成を依頼する。画像診断報告書検討部会を行う準備をお願いした。

5. 小委員会報告

安藤: CyberRadについて(資料6)説明があった。テーマ展示, 一般講演ともに来場者数は, 昨年より増加した。ツアー参加者の9割が良いという評価であった。

医学会総会でのIHEの展示について, 副会長の片山先生に石垣先生からお願いすることになった。ビデオを作成したら, 電子情報委員会にも配布するように依頼することになった。

6. 委員の交代について

委員長より資料(5)について説明があり, 池添, 佐古先生が辞意を示されたとの報告があった。新委員として若干名をお願いする予定。委員の交代は, 委員長に一任となった。

7. その他

(1) 専門医試験問題作成サーバーの移転, (2) 学会のIT化, (3) 『e-雑誌』構想について自由討論があった。

次回10月24日秋季臨床大会(秋田)を予定

議題: 第4回遠隔画像診断部会

画像診断報告書検討小委員会の報告

CyberRad2003の準備状況

平成14年度第3回乳房撮影委員会 デジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会議事録

日時: 平成14年6月14日(金)15:00~17:00

場所: 国立名古屋病院外来管理棟5F 第1会議室

出席: 石垣武男, 遠藤登喜子, 川島博子, 東野英利子
藤光律子, 今村恵子, 鈴木隆二, 永井優一
小寺吉衛, 堀田勝平, 榊原俊文(放射線工業会)
早乙女滋(富士), 酒井芳雄(富士)
伊知地宏志(コダック), 坪井絵美(名大)

議題:

1. 乳房撮影委員会の新体制について

日本医学放射線学会は本年4月から新体制となったが, 石垣理事が乳房撮影担当理事に再任された。乳房撮影委員会およびデジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会の委員は全員再任するので, 引き続き検討を進め, この任期のなかで基準を作成するよう要望された。

2. 昨季活動の総括

・CDMAMおよびACR156ファントムのハードコピー画像を評価した。結果, デジタルマンモグラフィの評価には, ハードコピーおよびモニタ診断の双方の評価に適用できるファントムを作成する必要があることが結論された。

・一般病院でのデジタルマンモグラフィの実態について, ACR156ファントム画像を通常マンモグラフィ撮影条件で収集, 調査した。結果, デジタルだから乳房撮影装置でなくても, あるいは乳房撮影用検出器でなくてもよいと信じている施設が少なくない実態が明らかとなった。

・乳房撮影用シャウカステン普及は極めて遅れていることも報告された。

3. 今期の活動方針について

・デジタルマンモグラフィのあるべき基準と, 放置できない現状を早急に改善するための緊急避難的基準の二重構造を検討することが委員長より提案され, 出席者全員の同意が得られた。

4. 現状評価と緊急改善

・デジタルマンモグラフィのあるべき基準についての検討は世界的にも現在進められているところであるが, わが国のデジタルマンモグラフィをみると早急に改善しなければならない現状がある。これを改善するために以下の緊急勧告を行うこととなった。

デジタルマンモグラフィ撮影にあたっては, 日本医学放射線学会の定める仕様基準を満たす乳房撮影装置を用い, 乳房撮影用の検出器を用いなければならない。また, 3mGy以下の線量を守るべきである。

ハードコピーの読影にあたっては, 読影室の照度やシャウカステンの輝度に十分配慮すべきである。

・堀田委員よりデジタルマンモグラフィの画像評価をアナログと同基準で行った結果が報告された。技師より医師の評価の方が厳しい基準を持っていたこと, デジタル画像であっても現在のトップレベルの機器を用いるとB評価が得られることが報告された。問題点として, デジタルイメージャでは得られないDmaxの問題, アナログでは問題になるがデジタルでは発生しにくいアーチファクトとデジタルだからこそ発生するアーチファクトがあること, 線量をチェックできるように撮影条件をフィルムに焼き込むことが必要など, 検討項目が挙げられた。次回までに堀田委員を中心に更に検討して行くこととした。

5. ファントムについて

・永井委員の試作ファントム画像を全員で評価し, 改善意見が提出された。

今後, 空間分解能, 濃度分解能ともに評価できるファントムの試作・評価を進める。

6. 次回委員会予定

平成14年8月30日(金)15:00~17:00 国立名古屋病院にて開催する。